



8月最高気温 &最低気温 の平均値 *資料 名古屋気象台	2017~2019年 (平29~令1)	高 33.9℃	低 25.5℃
	約45年間で… ↑	↑ +2.2	↑ +2.1
	1973~1975年 (昭48~昭50)	高 31.7℃	低 23.4℃

発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)
1・2月号



昨年、こんな報道が続いた。12月5日。独のシンクタンクが、「昨年の異常気象で、世界で最も深刻な被害を受けたのは日本だった」と発表した。

同16日。環境NGOの気候行動ネットワークが、「地球温暖化対策に後ろ向きの日本に、不名誉な化石賞を送る」と発表した。

2つの報道を複雑な気持ちで受け止めながら、私は大きな不安を覚えた。国のせいにして済む問題ではない。私自身、温暖化対策に向き合っていないのだ。

そして私の心に喝を入れたのは、16歳の高校生、グレタ・トゥンベリさんだった。COP25で世界のリーダーを前に、涙を浮かべながら訴えるその姿、その行動力。

「未来の全世代はあなたたちに注目している。もしも私たちが失望させるなら、決して許さない」

まさに、世界を動かすものすごい高校生の出現だ。



では私たちの住むこの町で、どんな変化が起きているのか。私は自分が中学生だった45年前の3年間と、ここ3年間の8月の気温を比べてみることにした。すると、上記表のとおり、2度超の上昇を確認した。

ただ、私が受験生だったその頃も暑かった。クーラーのない私は、上半身裸になって濡れたバスタオルをかけ、扇風機を回した。理にかなった天然クーラーだ。

しかし今は、温暖化、熱中症、異常気象、特別警報…。牙をむく自然の猛威に、毎年命まで危ぶまれるようになった。

本校2年生は、総合的な学習の時間に環境について学んでいる。

・冷蔵庫を開ける時間を減らす
・冷暖房の温度を1度上げ下げする
・コンビニでビール袋をもらわない
・テレビ画面の明るさを落とす
・コンセントをこまめに抜く

新たな局面を学びながら、一人一人の行動目標が刻まれる。グレタさんはこう結んだ。

「私たちは、未来を決める新しい10年に突入します。今こそ変わらねばなりません」

私たちの未来には何が待っているのか。それを決定する10年が始まる。君は何をするのか。私は何をすべきか。明るい未来を保証するために…。

※パリ協定を受け、国は2030年までに家庭のCO2排出量を4割削減することを提唱



三学期の抱負



来年につなげられるように

一年三組



三学期が始まります。一年間でいちばん短い三学期に私が意識したいことが三つあります。一つ目は、「けじめ」をつけることです。入

学してすぐは当たり前でできていた一分前着席や授業の準備などが、慣れによって少しずつできなくなってきたように感じます。入学したときの気持ちを思い出し、当たり前ができるように生活していきたいです。三学期が終わり、春になると私は二年生になり、私にも後輩ができます。その時に葵中生として手本になれるように3C(3ちゃん)を意識した行動を心がけて生活していきたいです。

二つ目は、「勉強」です。三学期は一年間のまとめの大切な学期だと思えます。一年生の勉強を振り返り、苦手なことを減らし、雑になっている課題をしっかりと取り組む努力をしたいと思います。そして、二年生の勉強にスムーズに進めるようにしたいと思います。

三つ目は、「生活」です。当たり前前にできていた早寝早起きなどができなくなっているように感じます。学校生活や勉強を頑張るためにも自分でできる当たり前のことをしっかりとやって、元気で生活できるようにしたいと思います。

「けじめ」「勉強」「生活」をしっかりと、一年間の締めくくりにふさわしい三学期にしたいと思います。来年につなげられるように、有意義で充実した毎日を送ります。

最高学年に向けて

二年五組

私は三学期に、特に頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、スキー研修です。私が一つ目標としているのは自分から行動を起こすことです。私は今までどちらかというと、人に任せることが多く、自分から行動することができていませんでした。今年初めて級長を経験し、自分が動かないとクラスがまとまらないことを知りました。スキーを通して、自主性を高められるようにしたいと思います。二つ目は、学習です。私にはまだ具体的な将来の夢や目標がありません。まずはその目標を見つけられるように勉強する姿勢を見直したいと思います。そして、自分の進路への選択肢が少しでも広がるようにしていきたいです。

三つ目は、部活動です。冬は練習時間が短いので、その中で何を意識してやるかがとても大切になると思います。今までの大会や練習試合で見つけた課題を修正して、さらに上を目指せるチームに成長したいと思います。私たちバレー部は公式戦で、よい成績を残せていません。来年の総体や市長杯で必ず納得できる内容、結果を残せるようにしたいと思います。

二年生の三学期は、三年生の0学期と言われます。今までよりもさらに成長できる学期にして、最高学年への意識を高めたいです。

卒業までにすべきこと

三年三組

私が三学期に頑張りたいことは二つあります。

一つ目は、学習です。一月に入り、高校入試本番までの時間が残り少なくなってきました。自分の目標とする高校に合格できるように、より一層、日々の勉強に励みたいと思います。私たち受験生にとって高校入試はとても不安なものです。その不安を少しでも自信に変えられるよう、今の自分に満足せず、努力を続けていきたいです。

二つ目は、係や委員会の仕事です。残り二か月という中学校生活の中で、自分は級長として何ができるのか、何をしたらよいのかをこれまで以上にしっかりと考え、自分から積極的に行動し、クラスや学年だけでなく、学校全体に貢献できる人になりたいと思います。

残り少ない中学校生活。三年間お世話になった葵中学校のために自分ができることを最後までやり遂げ、三年生全員で、笑顔で卒業式を迎えられるようにしたいと思います。そして何より、今までお世話になった先生方や、たくさんのお時間を一緒に過ごしてきた仲間、いつも支えてくれる家族への感謝の気持ちを忘れずに、残りの中学校生活を送っていかうと思います。

校内書き初め会

金賞

受賞者



長距離走大会

～大会結果～

		優勝	2位	3位
一年生	男子	8組	2組	—
	女子	1組	6組	—
	総合	8組	1組	5組
二年生	男子	6組	4組	—
	女子	4組	7組	—
	総合	4組	7組	5組
三年生	男子	1組	4組	—
	女子	6組	4組	—
	総合	4組	1組	6組

クラスで戦った長距離走大会

一年一組

十二月、体育で長距離走の練習が始まりました。長距離走は、他の種目と比べると苦しく、自分との戦いです。ですが、練習のときは、お互いに励まし合い、クラス全体から自然と「フアイト！」という声があふれ出ていました。

そして本番。クラス全員が全力で走り抜き、女子優勝、総合二位という結果を出すことができました。走るとき苦しさがあった分、そのあとに味わった達成感はとても大きいものでした。クラスの絆がより深まりました。

長距離走大会から得たもの

二年四組

私たちのクラスでは総合優勝を目指し、

それぞれが目標をもって、体育の授業や個人で練習をしてきました。本番では全員が力を発揮し、私自身も目標にしていた一位で襷を繋ぐことができました。応援も四組が一番

だったと思います。結果、クラスの目標であった総合優勝を勝ち取ることができました。

この行事を通して、クラスの絆がさらに深まりました。このクラスで皆と過ごす残り少ない期間を大切に、スキー研修などを通して、より絆を深められたら良いと思います。

最後の長距離走大会

三年四組

最後の長距離走大会は、マラソンの部に出ました。結果は五位でした。もっと速く走ることができたのではないかと、自分の中では悔いが残る結果でした。

しかし、男子女子それぞれ二位、総合では優勝することができました。みんなが手を抜かず、精いっぱい走ったことで優勝できたと思います。継走の部もみんなで応援できて、とても楽しかったです。そう思うと、五位でも少し誇らしく感じました。

残り少ない学校生活をクラスのみんなと充実した時間になりたいです。



市民駅伝を

終えて



最後まで楽しく

駅伝部男子主将

中学生最後の市民駅伝。僕たちはこの大会で優勝するために今まで練習してきました。市民駅伝当日、僕は監督の神谷先生に「楽しんで走ってこい」と言われました。僕はこの言葉を聞いて、緊張感から解放され、楽しく走ることができました。沿道には、多くの友達や先生方が来てくださり、心強かったです。僕は感謝の気持ちいっぱい而走ることができました。五か月の市民駅伝生活を通して、感謝の気持ちと、楽しく走ることを学び、すばらしい経験になりました。応援ありがとうございました。

最後の大会～みんなのおかげで～

駅伝部女子主将

市民駅伝の当日の朝、全員そろってやる最後のアップを運動場で行いました。各区間順に学校を出発していききました。その光景を見て「今日で最後なんだな」と実感しました。私は、今までの練習を信じ、絶対に入賞すると心に誓いました。結果は悔しかったですが、このメンバーで過ごしてきた時間は、私にとって宝物であり、一番楽しく感じた時間でした。駅伝部のみんな、今までありがとうございました。

2年 スキー研修

みんなで作り上げた楽しい時間

二組

みんなが楽しみにしていた、一日目の夜のレクリエーション。私は友達とステージに立ち、歌を歌いました。毎日お風呂や階段などの声が響く場所で練習をしました。最初はお互いの音につられ、なかなかハモることができませんでした。通していくうちにだんだんと音が合うようになり、本番では、緊張していた中、歌詞を忘れず練習の成果を出し切ることができました。

他の出演者や、見ている生徒、みんなが笑顔で楽しむことができた時間となりました。

人は誰かに支えられて生きている

一組

スキー研修二日目の夜、立志の式を行いました。式の中で、実行委員が十四年間を振り返る言葉を言いました。その言葉の中に「十四年間、気づかぬうちに私は誰かに支えられていた」という言葉がありました。私は、この言葉が心に響きました。私をこれまで支えてくれていた人は、家族、友達、先生でした。私のために、何かを犠牲にしても動いてくれていました。その人たちのためにも、自分を大切にし、感謝を忘れず生きていかなければいけないと、立志の式で改めて感じました。

スキー研修で学んだこと

六組

僕は、初めてスキーをしました。一日目は坂で止まるのがうまくできなかったけれど、先生にこつを教えてもらい、少しずつできるようになりました。二日目からは、緩やかにターンをするところなど難しいところが多かったですが、今度は友達が一つ一つ優しく教えてくれました。その親切がとても身にしみました。このスキー研修を通してスキーのテーマにもある感謝の気持ちを、たくさん感じることができました。この気持ちを忘れず、部活動や行事に取り組んでいきたいです。



表彰の記録

徳川杯剣道大会

剣道部男子 優勝

にしお駅伝 三位

愛知駅伝大会 二位

駅伝部男子A 五位

駅伝部男子B 五位
四区区間賞
駅伝部女子 二位
市民柔道大会 五位

明るい社会づくり実践体験文

奨励賞

あいち多文化共生作文コンクール

社会を明るくする運動作文 佳作

J A 共済交通安全ポスター 優秀賞

アクティブ杯 佳作

テニス部女子 三位

県アンサンブルコンテスト

金管八重奏 銀賞

フルート三重奏 銀賞

打楽器四重奏 銀賞

クリスマスカップ 銀賞

駅伝部男子 七位

駅伝部女子 五位

新春五万石マラソン大会

三〇〇〇m 中学三年生男子

全三河駅伝 二位

市民駅伝 三位

駅伝部男子 三位

おかざきアンサンブルコンテスト 一区区間賞
金管八重奏 奨励賞
木管三重奏 奨励賞
岡崎市バスケットボール大会 優勝
バスケット部男子 優勝
県総体 スキー競技 大回転 四位
回転 五位

二月の予定



三日(月) 生徒集会
四日(火) 三年生保護者会(～六日)
五日(水) 学年末テスト範囲発表
部活動休止(～一四日)
七日(金) 委員会(後期最終)
建國記念の日
一日(火) 学年末テスト(一・二年)
二日(水) 学年末テスト(一・二年)
三日(木) 入学説明会
四日(金) 学年末テスト(一・二年)
一日(金) 全校集会・教育講演会Ⅲ
二日(木) ひまわりプロジェクト
(資源回収)

三月の予定



二日(月) 同窓会入会式(三年)
三日(火) 第73回卒業証書授与式
四日(水) 公立A日程学力検査
五日(木) 公立A日程面接検査
六日(金) 公立B日程学力検査
七日(土) 公立B日程面接検査
一日(日) 一・二年保護者会
二日(月) 一・二年保護者会
三日(火) 全校集会
四日(水) R二年度前期生徒会役員選挙
五日(木) 公立高校合格発表
六日(金) 春分の日
七日(土) 給食終了・大掃除
八日(日) 修了式
九日(月) R二年度前期生徒会役員任命式
十日(火) 春休み(～四月六日)

葵が丘



一いつと同じものはない

開発主任 古家 茂枝子

「雪の結晶は二度と同じものを見ることはできない」その時の温度、湿度などの条件によつて結晶は様々な形に変化する。人も同じように全く同じ生き方をしていない。三学期に入り、三年生は本格的に受験に向けて、面接練習を行っている。

開発学級の三年生も受験に向けて、毎日面接練習、作業練習、筋力トレーニングに取り組んできた。生徒にとって志望する高校に入りたくない思いはあっても、志望動機や多くの質問に対して自分の言葉で具体的に話すことは大変難しいことである。それでも、自分と向き合い、練習を繰り返すことで、周りとは比べるのではなく、自分のこれまでの頑張りを認めて自信をもって面接に臨めるようになった。運動が苦手、人前で話すのが苦手、誰しも苦手なことがある中で、受験を通して克服しようとする姿、心身ともに成長する生徒たちの姿を見ることができた。どのような結果であれ、自分のために目標をもって全力で努力したことは、将来の大きな糧となるであろう。

ただ受験生になったからと言って、できなかつたことが練習して急にできるようにはならない。毎日の学校生活の中で様々なことに挑戦し、自分の課題に対してこつこつ努力していくことが大切だと思ふ。将来、三年生がどんな結晶に成長するのか楽しみにしている。

生徒 学校教育診断結果

A：よくあてはまる B：ややあてはまる
C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない（数字は%）

*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	生徒への質問項目	前年比	■ : A + B	■ C + D
1	学校へ行くことが楽しい。		85.1	14.9
2	あいさつがしっかりできる。		90.9	9.1
3	友だちや周りの人を思いやることができる。		90.9	9.1
4	靴やスリッパの整頓ができる。		92.0	8.0
5	学校行事に進んで参加している。		86.0	14.0
6	葵中の生徒会は活発で、自分も協力している。	-8.4	65.4	34.6
7	授業は分かりやすく、楽しい。	-4.8	68.4	31.6
8	授業のなかで「ちゃんと聴きます」ができています。		83.6	16.4
9	授業のなかで「ちゃんと伝えます」ができています。		60.0	40.0
10	授業のなかで「ちゃんと始めます」ができています。		85.6	14.4
11	学級の係活動やそうじを真剣にやっている。		89.8	10.2
12	地域の活動やボランティア活動に進んで参加している。	NEW	38.4	61.6
13	教育講演会や道徳の授業は、生き方を考えるよい機会だ。		82.7	17.3
14	読書の時間は楽しい。	-3.6	74.5	25.5
15	部活動に、進んで参加している。※3年は自分の活動を振り返る		89.6	10.4
16	通知表は、自分の学習や生活の様子をよく表している。		89.2	10.8
17	クラスに問題があれば、皆で協力して解決できる。		72.4	27.6
18	学校は、いじめや問題行動にたいねいに対応してくれる。	-3.1	73.9	26.1
19	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる友達がいる。		93.3	6.7
20	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる先生がいる。		72.7	27.3
21	インターネットやケータイ・スマホ等は正しく利用している。		96.7	3.3
22	ケータイ・スマホ等にフィルタリングをかけている。	-3.2	71.9	28.1
23	毎日朝食を食べている。		92.2	7.8
24	毎日歯磨きをしている。		97.2	2.8

6. 生徒会

今年度から体育大会に生徒会種目を取り入れ、役員に企画・運営の一切をゆだねました。また、文化祭では初となる被災地支援のバザー販売も行ってくれました。他にもあおいMAXや資源回収などたくさんの活躍を見せてくれています。全校生徒の参加意識や協力体制について、役員と共に一石投じる方法を検討します。

7. 授業

昨年4.8%数字をあげましたが、残念なことに再び元に戻ってしまいました。改めて「教えて!」「どう?」「質問!」「すごいじゃん!」の音が教室に響くような授業を構築します。また、振り返りの時間を有意義に設定し、生徒たちが「みんなで学んでいる」を実感できる授業づくりに努めていきます。

12. ボランティア 新

今年度から学区の地域ボランティア活動に、希望する生徒が参加できる体制を整えました。学区の総代さんから依頼を受けた11の活動に、延べ213名の生徒が参加しました。「できるときに、できることを」をスローガンに、地域と顔をつなぎ、地域で活躍できる大人へ育つ一助となることを期待しています。

生徒の評価に、3%を超えるプラス評価がなかったこと、そして、生徒会、授業、いじめ、SNS等の項目で評価を下げたことを重く受け止めています。改めて、生徒1人1人とのコミュニケーションを大切に、生徒理解・生徒支援の力をつけるよう努めていきます。(校長)

保護者 学校教育診断結果

A：よくあてはまる B：ややあてはまる
C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない（数字は%）

*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No	項目	前年比	A+B	C+D
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。		90.6	9.4
2	お子さんには、信頼できる友達がいる。	+2.5	91.1	8.9
3	お子さんは、学習内容が身についている。		64.5	35.5
4	お子さんは、部活動に進んで参加している。		88.9	11.1
5	お子さんには、信頼できる先生がいる。	+3.7	76.1	23.9
6	お子さんは、学校のことや友達のことを話している。		80.8	19.2
7	お子さんは、家庭や地域であいさつができています。	-4.2	82.1	17.9
8	教師は、分かりやすい授業をしている。		74.4	25.6
9	教師は、お子さんのよいところを認めている。		89.1	10.9
10	学校は、いじめや問題行動にたいへんに対応している。		82.0	18.0
11	教師にお子さんのことを気軽に相談できる。	+2.7	76.0	24.0
12	葵中新聞や学年通信などを読んでいる。		80.0	20.0
13	学校は、道徳の授業や行事で思いやりの心を育てようとしている。		84.8	15.2
14	学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしている。		89.4	10.6
15	学校は、授業参観や行事など開かれた学校づくりに努めている。		93.9	6.1
16	学校は、体育の授業や部活を通して、体力を育もうとしている。		91.9	8.1
17	学校は、教育講演会等を通して生きる力を育てようとしている。		91.5	8.5
18	学校は、読書を重視し、豊かな心を育もうとしている。		74.5	25.5
19	体育大会や文化祭などの学校行事は、充実している。		93.2	6.8
20	PTA 活動が活発で充実している。		85.9	14.1
21	自然災害や緊急時の対応について、家族で確認している。	-3.8	49.8	50.2
22	インターネット、スマホ等の利用に、我が家のルールがある。		74.8	25.2
23	ケータイ・スマホ等のフィルタリングをかけている。	-6.7	67.7	32.3
24	お子さんに朝食を食わせていますか。		96.4	3.6
25	お子さんに歯磨きをさせていますか。	+2.7	96.5	3.5

2.5.信頼できる友・先生 ↗

友達や先生との信頼関係を深めることができた生徒が増えたことは、大きな喜びです。今後も生徒1人1人と共感的な人間関係を築くことができるよう、教師の人間性、指導性、専門性を高めるよう努めていきます。

21. 災害・緊急時 ↘

大きな自然災害が毎年全国で発生しています。岡崎市の逃げどきマップを家族でご確認ください。矢作川や乙川、伊賀川が氾濫したらどうなるのか、土砂崩れはどこで起きるのかなど、具体的に示されています。身を守るキーワードは「逃げる」です。

7. 地域であいさつ ↘

大谷翔平選手は、あいさつができる人は「運をつかむ」と考えました。あいさつを考える「あおいMAX」では、多くの生徒がこの考え方に共感しました。あいさつは葵の生命線。地域のボランティア活動と共に、あいさつの励行を推進していきます。



23. SNS ↘

年々大きく下がり続けています。明らかにSNSに対する危機意識が社会全般に薄くなってきています。被害にあうのは大切なお子様です。

葵中生に勤める

「心に残った一冊」

葵中生に勤める「心に残った一冊」として、保護者の方や葵中学校の先生方に本の紹介をしていただきました。気になったものは是非手に取って読んでみてくださいね。

(図書館主任 次井 祥太)

葵中学校の先生方のおすすめ

○「電馬がゆく」／司馬遼太郎

幕末の混乱期、新しい日本を作るために東奔西走する電馬。自由な発想と卓越した行動力は圧巻。若い君たちにぜひ読んでほしい。

○「十代の君たちにおくる 保健室特別セラピー」

楽しい人生は、自分の手で作り上げることができると。あなたの価値と可能性に気づかせてくれる本です。中学生のときに読みたかった！と思う一冊です。保健室にも置いてあります。

○「マザー・テレサ 愛と祈りのことば」

大学生のとき、進路に悩んでいた私に進むべき道を示してくれた一冊です。生き方に悩んだときに読んでみてください。きっとあなたの心に響く言葉が見つかるはずです。

○「とんび」／重松 清

家族の愛情に気づける作品。(山田 匠馬 先生)
○「ツナグ 想い人の心得」／辻村深月
・松坂桃李さんが主演で映画化された「ツナグ」の続編です。周りの人を大切にしたい、自分の人生を大切に生きていきたいと思える本です。

○「逆境を生き抜く力」／我書屋優

日常生活での当たり前の大切さを教えてくれる一冊。(後藤 麻由 先生)

○「キャッチャー・イン・ザ・ライ」

高校を退学になった高校生がクリスマス前のニューヨークの街をめぐる。社会の理不尽さに対して鬱屈を投げかける若者の気持ちは共感を呼ぶ。青春小説。(義岡孝太郎 先生)

○「スラムダンクを読み返せ！」／齋藤 隆
・齋藤 隆さんの本。スラムダンクが読みたくなる。(神谷 直希 先生)

○「永遠の0」／百田尚樹

誰よりも生きてきたかった人が、他人のために命を捨てる決断にとても感動しました。個人的には映画より原作の方が泣けます！(次井 祥太 先生)

保護者の方のおすすめ

○「ダ・ヴィンチ・コード」／ダン・ブラウン

子供たちも学習の中で習ったルブル美術館のダ・ヴィンチやモナ・リザなどの有名絵画に隠された暗号解読など、読みだしたらすぐ引き込まれるストーリーです。是非、手にしてみたい作品です。その他のダン・ブラウンシリーズも本当におすすめです。

○「王様ランキング」／十日草輔

漫画ではありますが、こちらを紹介させていただきました。ハンディキャップを抱えた小さくて無力な王子様が仲間を得、自信を得て自らの正義のために奮闘するという内容の作品です。しかしながら、世に数多溢れる勧善懲悪ではありません。敵対する側にも曲げられない正義や領分があり、可愛らしいつくりの物語でありながら一辺倒の悪などない、ある意味シビアで身近な世界を描いており、読めば読むほど引き込まれます。

○「友だち幻想…人と人のつながり、を考える」

ネットやSNSありきの今の人のつながりをもう一度見直すきっかけになる作品です。人と人との関わりや距離感とは、常に誰かと一緒になければならぬという同調圧力とは…。考えさせられる内容です。

○「大地」／パールバック

三部構成の長編小説であるが、誰もが一気に読破してしまうほどの壮大なストーリー。人は大地に生まれ、育ち、そして還る。地に足がつく生き方こそ尊いことを感じることができる素晴らしい作品。

○「キッチン」／吉本ばなな

祖母の死により天涯孤独になった主人公が周りの人たちの何気ない言葉に支えられて立ち直っていく。重いテーマを扱いつつも優しい言葉で包まれている一冊です。

○「手紙屋 雪雪編 私の受験勉強を変えた

十通の手紙」／喜多川泰

何のために勉強するんだろう？何のために大学に行くんだろう？進路に悩む主人公の女子高生が「手紙屋」からの手紙で勉強する意味を見つめます。中高生、大人にもおすすめの本です。

○「アルジャーノンに花束を」／ダニエル・キイス

人間そのものの価値とは…。世の中の人と同じでいいの？決めつけられるのではなく、しっかりと自分で考え感じることが出来る一冊だと思います。何年前かに実写化された感動作品です。

○「こんな夜更けにバナナかよ

筋ジス・鹿野野明とポランティアたち／渡辺一史
障がい者も、ポランティアも人間なんだな…とリアルを感じます。自分のポランティアに対する考え方を改めることができました。

○「銀の匙」／荒川 弘

受験勉強や親のプレッシャーから逃れるため、寮生活のある農業高校へ進学した主人公。そこで出会った友人や先生、触れ合った動物たちから生きていくことの厳しさや将来への不安に立ち向かっていく姿を「鋼の錬金術師」の作者がギャグや名言を織り交ぜつつ主人公を描く。マンガではありますが、笑って泣いて考えさせられる珠玉の作品です。

○「よるごびの歌」／宮下奈都

悩みや不安をもつ女子高生たちが合唱を通して成長していく姿を描いた作品です。主人公だけでなく、脇役の人物の目線でも様々な思いが描かれており、とても面白いです。悩み、迷い、不安をかかえている子がいると思いますが、一歩踏み出す後押しをしてくれそうな一冊です。

○「クラスメイツ(前・後期)」／森 絵都

中学校には、いろいろな生徒がいる。自分を変えたい人、友達のことや、学校のイベントなどで自分の立ち位置など、小さいことで悩んだり楽しんだりとみんないろいろ立場でクラス全員が主人公として成長していく物語です。

○「ほくが子ども」／橋野広志

ガンで余命宣告を受けた若者が息子に伝えたいことを綴った本です。考え方には共感できるどころでもできないところもありましたが、親の立場でも子の立場でも自分の生き方、生活に思いを馳せるきっかけになると思います。

○「アルジャーノンに花束を」／ダニエル・キイス

知的障害をもつ主人公が「周囲の子と同じになりたい」「賢くなりたい」と思い、脳のオペをする。IQ68→105へと変わり、彼の周囲も変わった。が、

それは一時的なものだった。またIQ68へ戻ったのは主人公にとって「どちらが幸せだったのか？」と考えさせられる一冊。

○「ハリポッター」シリーズ／J・K・ローリング

映画でおなじみの「ハリポッター」。文章で読むとさらに深い。人と人との関係や親子、兄弟、友との信頼関係がとてつもなく描かれている。映画を見た人こそ、読んでみるべき本であると思う。

○「十二国記」／小野不由美

わが子が初めてのめり込んだ小説。昨年、18年ぶりに新巻が出てようやく終わった感のある大作。同じような年代の子(中高生)が出てくるので入りやすいかも。

○「ごくくるとるマンボウ青春記」／北 杜夫

北 杜夫のエッセイで、中学時代この本を読んで高校生活に憧れを抱きつきました。遊ぶときはしっかり遊び、勉強するときはしっかりやる。やることをやっていれば、ある程度「自由」でめっちゃめっちゃなところが面白かったです。これを見習って高校時代、高校の池にいるコイを釣って遊んでいたら高校の先生に大変褒められつきました。

○「女の子が生きていくときに

覚えていてほしいこと」／西原理恵子
作者は、高須クリニックの高須院長の隣にいる女性。彼女のこれまでの人生をもとに書かれています。読んだとき「わかる」となるには少し早いと思います。ただ、長い人生、人は何度か転ぶ。そのとき立ち上がる方法が少しでも心の中に残っていたらいいなと思います。タイトルは女の子ですが、男の子でも元女の子でも！

○「サイハテ」／小林オキス

人と人が想いと願いをつなぐ。物語。さり気ない友情を感じるストーリーで、幸せな気持ちになります。

○「英語、苦手かも…?と思ったときに読む本」

英語に対する考え方が変わるかもしれません。

○「翼をください」／ジエームズ三木

学校格差の問題を扱ったドラマのノベライズ版。生徒たちの叫びが胸に迫ります。中3だった当時、担任の先生が視聴覚室で見せてくれ、その後原作本を読みました。あれから約30年。学歴への偏見は変わったのだろうか。どの道へ進もうと自分は自分。がんばれ受験生。

○「銃・病原菌・鉄(上・下)」

ジャレド・ダイアモンド
どうしてこんなにも世界の発展に偏りがあるの

か。人類の進化について書かれた本です。

○「赤毛のアン」/モンゴメリ

・私が中学生のころに、何度も読んだ大好きな本です。主人公のアンがとても魅力的に描かれています。そして美しい風景の描写、物語の中に入り込んでしまうストーリーです。

○「発酵文化人類学」/小倉ヒラフ

・多様性の意味を求めていたときに出会った本です。著書の終わり頃に出てくる「プリコラージュ」。テクノロジーばかり求めていく世の中ではなく、それぞれのよさを寄り添いながら、切り貼りするようにお互い補ってあげれば、人間同士の交わりも豊かになり、もっと幸せを感じることの出来る世の中になるのではないかと、発酵の世界から人の役割についても学べる一冊です。

○「子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの?」

／おたとしまさ
・子ども編と大人編があり、養老孟司さんの大人編の中に徳川家康の有名な言葉が出てきます。葵中ならだれもが知っている言葉。視野の広がりがきっかけになるのではないのでしょうか。

○「そして、パトンは渡された」/瀬尾まい子

・血のつながりはないけれど、主人公はいつも両親を思い、両親から愛されていました。心が優しくなるお話です。

○「羊と鋼の森」/宮下奈都

・ピアノの調律師を目指す青年が、彼の周りにいる人たちと関わりながら、地道にこつこつと努力を重ね成長していく物語です。とても満たされ温かい気持ちになるお話です。ぜひ読んでみてください。

○「生きつづける抱えるきみへ」/withnews編集部

・誰もが生きつづらさを感じるときはあると思う。それは特別なことではなく、一人じゃないと教えてくれる本です。

○「舟を編む」/三浦しをん

・ことばの奥深さにふれ、日本語をもっと知りたくなりました。一つのことを強い思いをもって貫く「こ」を感じます。

○「本と図書館の歴史」/モーリン・サワ

・図書館という、たくさんの本がタダで読めて、必要な貸し出しもできるところと、思っている人が多いと思います。しかし、長い歴史の中には、本が棚に鎖で結びつけてあった時代もありました。そんな本と図書館の歴史をイラストで分かりやすく書いてある一冊です。

○「音楽は自由に」/坂本龍一

・坂本龍一の音楽を聴いてから読むと面白いと思います。クラシック、民族音楽、テクノなどいろいろ完成したんだと音楽との関わり合いが分かります。音楽が好きなら是非。

○「水に抱かれ紡ぐ夢」/小椋杏

・葵中生の親の作品です。ぜひ一度読んでみてください。

○「ソフィーの世界」/ヨースタイン・ゴルテル

・中学生が「哲学とは」と考えることはまだないと思いますが、人生を哲学的な見方をするのはとても重要です。私は高校生のころ、この本と出会い、今まで平面的だった世界が三次元、四次元と広がっていきましました。自ら思考し、人生を切り開くきっかけになる一冊だと思います。

○「余命10年」/小坂流加

・突然医師の口から発せられる余命宣言。タイムリミットは10年。その残された10年で何ができるのか。そして今の何気ない日常がどれほど幸せなのかを感じる事ができ、考えさせられます。今の葵中生にもぜひ読んでほしい一冊です。

○「幸福な王子」/オスカー・ワイルド

・児童向けの小説です。心をもった銅像の自己犠牲によって物語が進みます。ここまでとなくとも、他者を思う気持ちや余裕をもちたいと大人になつてからも考えさせられる一冊です。

○「獣の奏者」/上橋菜穂子

・NHKでアニメ化、マンガ化もされている少女が主役の長編ファンタジー小説。

○「白夜行」/東野圭吾

・主人公二人の心の描写が切なく、最後の真実が解き明かされたとき、泣けるストーリーです。千ページ以上ありますが、一気に読めてしまいます。

○「ノーサイドゲーム」/池井戸潤

・弱小チームが新GMの考えに共感し、チームメイトとともに育ち、強いチームを作っていく話。

○「夜と霧」/ヴィクトール・フランクル

・限界状況における人間の姿を記録し、人間、精神の高さと善意への限らない信仰があふれているので、ぜひ一度読んでみてください。

○「カイン」自分の「弱さ」に悩むきみへ /中島義道

・親や学校の先生の言うことをきく「よい子」だった著者が、どのようにして「強く」なったのかを振り返る。自分の弱さ(生きていくのが辛くてたまらない、自分が嫌いで仕方ない、何をする気力もない、自分の暗い性格がイヤ、など)に悩む人におすすすめです。

○「じぶん・この不思議な存在」/鷲田清一

・じぶんって何?じぶんらしさとは何かを考えさせられる本です。

○「民主」/池井戸潤

・池井戸潤の作品です。全く興味のない政治にも読み終わった後には少し興味ももって身近に感じられるような、そんな一冊です。

○「ぼくはイエローでホワイトでちよっとブルー」/レイディみかこ

・これから人生を生きる上で、必ず避けては通れない様々な現実(いじめ、格差、貧困、差別など)への寄り添い方が詰まっています。生徒たちだけでなく、保護者の方へも、一読の価値ありと思います。

○「銀河鉄道の父」/門井慶喜

・宮沢賢治の父の視点から見た子供に対しての想いが書かれた本。子供が親の気持ちを理解できる本。

○「ボケツト詩集」/田中和雄

・悩んだとき、迷ったとき、背中を押してほしいとき、自分の存在について考えたくなったとき、今の気持ちにズキン!と響く詩に出会えます。何度も読み返し、日本語の美しさ、力強さ、作者のメッセージを感じてほしいと思います。

○「舟を編む」/三浦しをん

・一つの辞書を作るために、色々な人が携わっていきさまがおもしろいです。

○「きみの友だち」/重松清

・中学生におすすすめ。

○「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」

・ものすごい勢いで社会が変わり続けている今、本当の豊かさ、幸せとは何かを考えるきっかけになる本です。

○「高瀬舟」/森鴎外

・中学生のとき、読書感想文を書く本が決まらないうちに、国語の先生が選んでくださった本です。深く考え込んでしまったそのときの私を今でもはっきり思い出せます。同じ中学生のあなたたちにもぜひ読んでほしいです。

○「心は天につながっている」/金澤泰子

・メディアにも多数取り上げられ、東京オリンピック公式アーティストとしても活躍されているダウン症の書家、金澤翔子さんの生い立ちからのお話。承認欲求、妬みや嫉妬、そんな心はもっておらず、ただ人が喜ぶことが好きな翔子先生。天使のような内面にも癒されてください。

○「黄砂の籠城(上・下)」/松岡圭祐

・できたら勇前。(気づいてくれるかは別として)「風が強く吹いている」/三浦しをん

○「風が強く吹いている」/三浦しをん

・個々の努力の大切さ、「チームのために」頑張れる力。こういう学生生活を送ってほしいなあと思います。

○「ブランキッズラフソディ」/石川高子

・吹奏楽部の人におすすすめ。先生と部員の交流が印象深いです。

○「天と地の方程式」/五十嵐大介 富安陽子

・最後の最後にすべての謎が解ける。読後感が爽快な本です。

○「54字の物語(史)」/氏田雄介

・54字という短い文の中で、日本史の重要な出来事などを楽しみながら学べます。歴史が苦手な人にもおすすすめです。

○「転んでも大丈夫」/ぼくが義足を作る理由

／臼井二美男
・挑戦するって怖さもあるし、とても勇気がいる。でも、あきらめず一歩踏み出してほしい。必ず新しい自分に出会えるから。転んでも大丈夫。

○「仕事は楽しいかね」/デイル・ドーテン

・試してみることには失敗はないということを教えてくれる本です。

○「カラフル」/森 絵都

・魂がホームステイして修行をする話。中学生のリアルな人生を上手に描かれていると思います。人生では思い通りにいかないことのほうが多いので、そこをどう頑張るか。得るものも多い中学生にとってとても大事なお話です。

○「ミライの授業」/龍本哲史

・勉強する理由がわからなくなった君へ。

○「飛ぶ教室」/エリヒ・ケストナー

・いろいろな背景の子供たちが出てきます。いろいろな考えの先生たちも出てきます。皆さんは、きつといういろいろなことを考えながら読むことになると思います。けれど、クリスマスシーズン。の温かい物語であることは確かです。児童文学ですが大人にとっても大切な一冊です。

○「たとえ明日、世界が減っても今日、僕はリンゴの木を植える」/龍森古都

・「今日という人生を生かすために」一杯生きる。夢を叶えるため、何度転んでも立ち上がって前進する! この言葉から、いろいろな場面を想像してほしい一冊です。